

1/15 読書感想文コンクール表彰式



市内小中学校を対象とした同コンクールの表彰式を駅前交流プラザ「よるーな」で開催。今回入賞となった子どもたち20人が出席し、それぞれ鈴木名寄図書館長から賞状と記念品が手渡されました。

各校からの推薦作品130点から入選27点、佳作40点を選考

PICK UP 第53回全国中学スキー大会ノルディック競技

2月2日から5日の期間で、第53回全国中学校スキー大会が開催され、クロスカントリーやジャンプなどのノルディック競技が名寄市で開催されました。(アルペン競技は富良野市で開催)およそ400人の選手が名寄に集結し、2日に市民文化センターEN-RAYホールで開始式を開催。鴨田鮎華さん(名寄中3年)が選手宣誓を行い、大会のスタートを切りました。大会には市内から選手宣誓をした鴨田さんがスペシャルジャンプ、三上琢真くん(名寄東中1年)と三上玲央くん(名寄東中2年)がクラシカル(クロスカントリー)に出場し、熱い戦いを繰り広げました。

大会スローガンは「夢見る強者よ 純白の山に集い 伝説となれ」



PICK UP 産業高校生が台湾で農業研修

名寄産業高校酪農科学科の生徒6人が1月12日から16日にかけて、農業研修として台湾を訪れました。6人は、滞在期間中に嘉義大学で酪農場や園芸センターを見学し、虎尾高級農工職業学校で地元高校生との授業交流、地元農家見学などを行い台湾農業について自分たちの目で見て、体験して多くのことを学びました。帰国後、2月15日に4人の生徒が名寄庁舎を訪れ、「牛の耳標の付け方が日本とは違った」「暑さと餌の違いから台湾の乳牛の乳量は少ない」と日本と台湾の農業環境の違いなど研修で学んだことを一人ひとり加藤市長に報告しました。



日本と台湾との違いを知り、ひとつ成長

1/24 名寄ウィンターバンドフェスティバル



市民文化センターEN-RAYホールで開催。市内の中学、高校の吹奏楽部や、市立大学の吹奏楽団が出演し、ゲストに旭川凌雲高校吹奏楽局も出演。迫力のある演奏で会場を盛り上げました。

最後には総勢86人での合同演奏も行われました

2/7 第32回ふうれん冬まつり



2月6日から風連仲町特設会場で開催。会場内には7基の雪像が並び、本祭のこの日は宝探しやもちつき、ジャンボ滑り台、トナカイそり遊びなどに多くの子どもたちが集まり楽しんでいました。

風連地区の冬の大イベント

2/6 豊西小 最後のスノーランタン



豊西小学校PTAが主催する最後の「豊西小スノーランタンフェスティバル」が同校グラウンドで行われました。児童やその保護者などおよそ220人が参加し、会の最後には花火も打ち上げました。

中央には「ははたけ」の文字が

PICK UP 第64回なよろ雪質日本一フェスティバル

南広場を会場に2月12日から14日にかけてなよろ雪質日本一フェスティバルが開催されました。12日に開会式が行われ、メインステージの大雪像「ドラえもん」にちなみ、どら焼きまきを行ってからイベントがスタート。12日夜からは、10日から競技が始まった国際雪像彫刻大会の作品のライトアップが始まったほか、13日には、犬ぞりや初開催のちびっこ運動会などに多くの人々が集まるなど、名寄の冬を楽しめるイベントとなりました。



国際雪像彫刻大会はアメリカ・ロシアチームが優勝

2/13 北の天文字焼き2016



北の天文字焼き実行委員会が主催する同イベントがこの日開催。市内外から約100人が点火プレゼンターや点火キーパーとして参加し、市内旭東の「太陽の丘」で巨大な「天」の文字が浮かび上がりました。

270個のドラム缶を「天」の形に並べ、書き順ごとに点火

2/14 石垣島天文台とのコラボライブ♪



市立天文台と交流協定を結んでいる沖縄県国立天文台石垣島天文台との交流ライブが天文台で開催。沖縄県の鳩間ファミリーが出演し、明るいリズムの沖縄民謡などを披露しました。

沖縄から約3200キロ離れた地で南国の雰囲気を楽しむ